



「背高」シール貼付徹底

阪神港海コン協

夜間。パトで無表示散見

【大阪】阪神港海上コンテナ協会(山口与嗣雄会長)は19日、理事会を開き、コンプライアンス(法令順守)徹底に向けた取り組みの一環として、背高コンテナ輸送車両に対して表示シールを貼付徹底を図ることを決めた。

コンテナの全高が、通常の2・8mより高い2・8m(9フィート6インチ)の背高コンテナを輸送するシャシーには、道路交通法の規定に基づき、「背高」と書かれたシールを貼らなければならぬ。しかし、不法駐車防止を目的とした夜間パトロール

しかし、不法駐車防止を目的とした夜間パトロール

「起こしていきたい」と述べた。
(小糸史和)

で、表示の無いまま運行しているシャンパンが散見されたことから、会員事業者に再徹底を呼び掛ける。

で、表示の無いまま運行しているシャシーが散見されたことから、会員事業者に再徹底を呼び掛ける。

更に、実入りコンテナの輸送中に、阪神高速道路の料金所に設置した自動軸重計による計測で軸重違反を指摘され、特殊車両通行許可を取得しているにもかかわらず、指導警告書が送られてくる事案が多発していることを問題視。大阪府トラック協会海上コンテナ部会（山口部会長）、兵庫県部会（佐賀里隆之部会長）と連携し、実態調査に乗り出すことを決めた。